

2019年度県立学校の編制について

6校で計画延期！ 盛岡ひがし支援学校 新設

8月1日、県教委は県議会商工文教委員会で「19年度 県立学校の編制について」を示しました。16年3月に策定した「新たな県立高等学校再編計画」を基本としつつも、6校での計画が延期となりました。しかし、計画外の岩谷堂高校が1学級減となり、今後の地域や学校に与える影響に注視していく必要があります。

1. 計画延期

- ・花巻南高、水沢工業高、前沢高、山田高（以上学級減を延期）
- ・盛工定時制（募集停止を延期）
- ・葛巻高（学級減）は、今年に引き続き来年度も計画延期

2. 学級減

盛岡四高（普通7学級→6学級）、 平館高（普通2学級→1学級）、
岩谷堂高（総合5学級→4学級）、 大東高（普通3学級→2学級）、
大野高（普通2学級→1学級）、 久慈高（普通5学級→4学級）、
福岡高（普通5学級→4学級）

3. 学科改編

- ・大船渡東（5学科→4学科に改編）
機械科、電気電子科を募集停止し、新たに機械電気科を設置
- ・宮古水産（3学科→2学科に改編）
海洋技術科、食品家政科を募集停止し、新たに海洋生産科を設置

4. 新設校

- ・盛岡ひがし支援学校
盛岡みたけ支援学校の慢性的な教室不足の解消を主な目的とした新設校。

県教委によると、学級減・募集停止の延期は「志願者数の変化による」ことを大きな理由としていますが、計画が決まった時点からの各学校・市町のとりくみや、高教組をはじめとした地域の意見表明が成果につながったと考えられます。今後は、学級減となった学校の負担軽減に向けたとりくみが課題となります。

また、4月開校予定の盛岡ひがし支援学校は、県内15校目（国公立）の支援学校本校となり、高教組の分会数は84となります。

支部教研が始まっています！

子どもたちのために創意工夫して行っている、普段の教育実践をレポートにまとめ支部から県へ、そして全国へと、発表をつなげましょう。

第66次県教研は11月10(土)・11日(日)花巻温泉で行います。

講演会講師は、「ブラック部活動」等の著書のある名古屋大学の内田良准教授です。多くの組合員のみなさんの参加をお待ちしています。